



東京大学
先端科学技術研究センター
鈴木俊貴 准教授

広島大学長
越智光夫



鳥のさえずりを「言葉」として捉え、世界で初めて「動物言語学」を提唱した東京大学准教授の鈴木俊貴氏と、広島大学の越智光夫学長による特別対談が行われました。シジュウカラの鳴き声に隠された、驚くべきコミュニケーションの仕組みから、鈴木准教授の研究の原点、そして現代のAI時代においてこそ問われる「自ら考え探究する力」の重要性まで、さまざまな視点から語り合いました。

予想外の結果こそ、新たな発見につながる。



鳥たちは「言葉」を学び、文化として受け継ぐ

越智 先生の「僕には鳥の言葉がわかる」という本を偶然手にして、その日のうちに気にかけて読んでいただきました。先生はシジュウカラの「ジャージャー」「ビビビ」といった鳴き声が言葉であり、意味を持っているのを見いだされたということですね。

鈴木 小鳥たちは生きるために言葉を使っている。で、鳴き声の特徴は本能的に決まっています。例えば「タカが来たぞ」と知らせる「ビビビ」は、7〜8キロヘルツほどの高い音です。タカには聞こえにくく、周りの小鳥には届く、ちょうど良い音域なのです。シジュウカラのヒナは、親鳥の声を聞き分けて天敵から身を守ります。猫やカラスが迫ると親鳥は「ビビビ」と鳴き、ヒナはうずくまります。ヘビの時は「ジャージャー」と鳴き、ヒナは巣箱を脱出します。

越智 コガラやヤマガラなどもそれを理解していると言われていますが、他の鳥はそこまでシジュウカラの言葉を理解しているのでしょうか。

鈴木 研究を進める中で、かなり分かってきました。例えば、ヘビを見つけた時に「ジャージャー」はシジュウカラ以外の鳥にも「ビビビ」という情報として伝わっています。

越智 一緒に暮らす中で、お互いの鳴き声を観察し、学習しているのです。

鈴木 鳴き声には「一言」があるので、違う地域の声を聞かなくても反応できないことがあるんです。動物全体で見ても、言葉は後天的に学習できる種類は少ないのですが、シジュウカラはそれが得意です。本能だけでなく、周りで文化的に確立された言語体系を習得していく部分が多いのです。

越智 では、子どもの段階で海外から連れてきたら、日本のシジュウカラと話せる可能性があるのですか。

2026年4月16日「世界に羽ばたく。教養の力」の講演を終えて
学生の皆さんが講演をとっても真剣に聞いてくれて、学ぶ意欲の高さを感じました。講演後、たくさん質問や感想をもらったのも嬉しかったです。特に印象的だったのは、広島大学の温かい学風です。越智学長と学生の皆さんが気さくに挨拶を交わされている様子を何度も拝見し、日頃から良い関係が築かれているのだと感心しました。

鈴木 日本では育てば、日本のシジュウカラ語を話さずには。ヨーロッパでは、シジュウカラとアオガラの卵を巣箱に入れ替える実験がありました。すると、シジュウカラは育てられたアオガラはシジュウカラ語を話し、シジュウカラに求愛するようになったのです。その逆も同じでした。他の動物の言葉を学び、理解する能力がどこまで普遍的なのか、今後さらに明らかになると思います。

越智 少し話題を変えて、幼少期のお話を聞かせてください。ご自身を振り返って、どのような子どもだったかと思われませんか。

鈴木 本能的に生き物を観察するのが大好きな子どもでした。そこをどう伸ばしたか、どこで何を捕まえたか、どこで初めて見たかという記憶ばかり残っています。アルバムを見ると、1歳5カ月の頃にはベビーカーに虫取り網が刺さっていたほどです。両親は特に生き物好きではありませんでしたが、僕の興味に気が付き、虫取り網や魚取り網を手作りしてくれました。

越智 そのまま興味が続いたのですね。現在のようには、鳥へ関心が移ったきっかけは何でしょうか。

鈴木 最初は虫や魚を捕まえて観察するのが好きでしたが、それが、本能的に知ったかぶりというのか、どうも見ていたのか、ということだったんです。人工的な水槽ではなく、厳しい自然の中で生きる鳥たち、鳥の世界に入ること、その疑問に近づくのではないかと、彼らが何を考え、何をしゃべっているのかを知りたいと思いました。

越智 それが今の研究につながったのですか。大学は東邦大学理学部生物学科に進まれましたが、何が基準だったのですか。

鈴木 当時テレビで拝見した長谷川博士の存在です。絶滅の危機にあったアホウドリを救うため、無人島の鳥島に通っていました。最初は50羽ほどだったのが、今では1万羽を超えるまでになっています。人間は生き物を減らすこともできれば、1人の力で救うこともできる。その背中を見たと思います。進学を決めました。

越智 長谷川先生からはどのような影響を受けましたか。

鈴木 「物事を考える時に一度逆の発想をしてみると、それが正しいことがある」「実験をする前に、結果が分かるくらい観察して理解しない」という教えが印象的です。本能的にそのとおりだと今も思います。越智 最初の研究はシジュウカラですか。また、予想どおりにいかないことはありましたか。

鈴木 シジュウカラのヒナが、生まれつき違う音に対して適切な行動を示せることが世界で初めて分かり、評価していただけでした。もちろん予想どおりにいかないことも多いですが、それは「まだ知らない情報やメカニズムがある」ということです。予想外の結果こそ、新しい発見につながると思っています。

越智 フィールドワークを重ねてこられた経験から、学びにおいて最も重要なことは何だと思われますか。

鈴木 本や文献に書かれていることは、誰かが解釈した世界の一部にすぎません。身近なシジュウカラでさえ、天敵の種類を伝えたり、文章を作ったり、翼でジェスチャーをしたりするのは長く知られていないことです。世界には、まだ分かっていないことがたくさんあります。学びでは、知識を得ることだけでなく、知識を生み出すことが大切だと思います。

越智 私も整形外科医として研究するのが好きで、いくつもの新たな治療法に挑みました。アイデアは誰にも出せるはずですが、そもそも考えようとする人が少ないように感じます。考えることをやめなければ、何か生み出せるものだと思います。

鈴木 今は、分からないことがすぐに検索したり、AIに聞いたりして、ますます考えない時代になっていると感じます。しかし、それで分かるのは誰

かの解釈のつぎにすぎません。未知を探究するには、考える力や観察力、ひらめきが必要だと思います。AIとうまく付き合い、創造的なことに向き合う必要がますますあるのです。

越智 ただ与えられるのを待つのではなく、自分で生み出す努力も重要ですね。いずれにしても技術は進歩して、さまざまな面で社会は変わっていますが、研究の視点から人間社会に気付きはありますか。

鈴木 言葉についてよく考えるようになりまし。シジュウカラなどの動物は、子どもや仲間を守る、協力を促す、大切なものを守るなど、目の前の出来事について話すことが多いです。一方、人間は目の前にないことを話します。昨日の体験を共有し、明日の計画を立て、存在しないものを想像して楽しむこともできる。これはすごい力ですが、使い方を間違えると、人を傷つける方向にも向かいます。人間のトランスは、言葉の使い方が生まれてくる部分が大いにあるのではないかと感じます。

英国の教育評価機関 クアックアレリ・シモンズ (QS)
QS 世界大学ランキング 2027
国内の国立大学で トップ10入り
分野別 QS 世界大学ランキング 2026
生命科学・医学や歯学など、 1つの大分野・8つの小分野で 国内トップ10入り
英国の高等教育専門誌 Times Higher Education (THE)
THE 世界大学ランキング 2026
国内の国立大学で トップ10入り

THE サステナビリティ・インパクト・レーティング 2026 (旧インパクトランキング)



広島大学は
世界77位を達成！

SDGs 5項目で
世界トップ50

SDGs 3項目で
国内単独1位！

国内1位 世界36位	2 世界46位	3 世界96位	国内1位 世界201~300位	9 世界49位	国内1位 世界201~300位	11 世界99位	15 世界37位	17 世界42位
---------------	------------	------------	--------------------	------------	--------------------	-------------	-------------	-------------

世界が認めた 広島大学の挑戦

広島大学は、英国 THE が発表した「THE サステナビリティ・インパクト・レーティング 2026」(旧インパクトランキング) で世界 1,603 大学中 77 位、国内 30 大学中 2 位にランクインし、総合ランキングで初の世界トップ 100 入りを果たしました。教育・研究・社会貢献を通じた本学の取り組みが国際的に高く評価されたものであり、この成果は、大学全体で挑戦を積み重ねてきた証です。広島大学は、一人ひとりの学生の未来を育み、平和を通して世界に貢献できる人材の育成に取り組んでまいります。



広島大学オープンキャンパス 2026 OPEN CAMPUS

本気の学びを、
広島大学で



主な企画コンテンツ

- ①学部別プログラム
学部・学科紹介、模擬授業、研究室紹介、個別相談など
- ②全体プログラム
学長基調講演、在学生による大学紹介、大学説明会



東広島キャンパス 東広島市鏡山1-3-2	霞キャンパス 広島市南区霞1-2-3	東千田キャンパス 広島市中区東千田町1-1-89
-------------------------	-----------------------	-----------------------------

オープンキャンパスに関する問い合わせ先 ▶ 高大接続・入学センター E-mail: nyusi-group@office.hiroshima-u.ac.jp

基本理念		〇平和を希求する精神		〇新たな知の創造		〇豊かな人間性を培う教育		〇地域社会・国際社会との共存		〇絶えざる自己変革	
学 部	〇総合科学部	□教育学部	□法学部	□理学部	□医学部	□歯学部	□工学部		□生物生産学部	大 学 院	□人間社会科学研究科
	総合科学科	第一類(学校教育系)	法学科	数学科	医学科	歯学科	第一類(機械・輸送・材料・エネルギー系)		生物生産学科		□先進理工科学研究科
	国際共創学科	第二類(科学文化教育系)	〇経済学部	物理学科	保健学科	〇口腔健康科学科	第二類(電気電子・システム情報系)	□情報科学科	□統合生命科学研究科		
	□文学部	第三類(言語文化教育系)	経済学科	化学科		□薬学部	第三類(応用化学・生物工学・化学工学系)	情報科学科	□医科学研究科		
	人文学科	第四類(生涯活動教育系)		生物科学科		薬学科	第三類(応用化学・生物工学・化学工学系)				□スマートソサイエ
		第五類(人間形成基礎系)		地球惑星システム学科		薬科学科	第四類(建設・環境系)				環境科学研究院

卒業生の 皆 様 へ	広島大学校友会(フェニックスクラブ)へご加入ください。 学生支援事業を行うとともに、校友間のコミュニケーションを促進し、広島大学に關係する全ての個人や団体からなる広島大学コミュニティーの育成と発展を図ることを目的としています。
校友会への 問い合わせ	広島大学校友会事務局 TEL:082-424-6015 E-mail: sec@phoenix.hirodai.jp Webサイト▶ https://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai